

令和元年7月16日

向日市長  
安田守様

向日市廃棄物減量等推進審議会  
会長 山川 肇

ごみ減量を推進するための方策について(答申)

平成30年11月12日付け30向環第7380号により諮問のありました上記のことについて、次のとおり答申します。

- 1 はじめに
- 2 これまでの取り組み
- 3 ごみ減量の目的
- 4 現状と課題
- 5 ごみ減量を推進するための提言
  - (1)ごみ袋について
  - (2)古紙回収について
  - (3)分別回収ステーションについて
- 6 おわりに

## 1 はじめに

向日市では、市の最上位計画である「ふるさと向日市創生計画」において、環境への負担が少なく、市民一人一人が優しく住むまちづくりのため、市民1人1日あたりの目標ごみ排出量を510gと定め、ごみの減量化や資源再利用の取り組みを強化し、持続可能な循環型社会の構築に努めているところです。

当審議会では、「ごみ減量を推進するための方策について」、安田市長から諮問を受け、具体的なテーマを「ごみ袋について」「古紙回収について」「分別回収ステーションについて」と定め、審議を重ねてまいりました。

この度、審議会の意見としてまとめましたのでここに答申します。

## 2 これまでの取り組み

向日市では、昭和24年にごみの戸別収集を開始し、昭和53年には空缶・空瓶のステーション方式による分別回収を始め、平成に入りステーション方式の分別回収品目にペットボトルを加えるなど、市民の利便性とごみの収集や回収の合理性を考慮し、ごみの収集や回収、分別の方法に工夫を加えながら、ごみの減量を推進しています。

近年では、市役所本館での資源ごみの拠点回収に加え、資源ごみ終日回収ステーション3か所(北部:北部防災拠点、中部:鶏冠井コミュニティセンター、南部:上植野コミュニティセンター)を設置し、市民のライフサイクルやニーズに応じるとともに、リサイクルやごみ減量の推進に努めています。

また、ごみ減量をさらに推進するため、広報誌や市ホームページを通じて、分別の周知を徹底するとともに、リサイクルひまわり市の実施やごみ出しカレンダーの各戸配布、環境市民講座を開催し啓発に努めるなど、様々な取り組みを行っているところです。

## 3 ごみ減量の目的

現在、可燃ごみの焼却処理は、向日市、長岡京市、大山崎町で組織された乙訓環境衛生組合で行っており、この運営経費は2市1町で負担していることから、分別回収を徹底し、ごみの減量化を図ることで、近い将来における焼却施設などの建て替えの際には、施設規模を縮小して建設費をおさえることができ、市民の費用負担軽減につながるものと考えられます。

さらには、最終処分場である埋立地についても、ごみの減量化が進めば延命が図れ、新たな埋立地を設置する時期を遅らせることができます。

また、地球温暖化問題をはじめとする地球規模の様々な環境問題の解決のためには、循環型社会を構築し、次世代へ課題を先送りすることなく、環境負荷を軽減していく必要があります。そのために、3R(ごみの発生抑制・再使用・再生利用)を推進することは極めて重要です。

## 4 現状と課題

### (1) ごみ排出量の増加

これまでの取り組みにより、家庭から出される可燃ごみの1人1日当たり排出量は、ピークであった平成11年度の約730gが、平成29年度には524gと、徐々に減少してきましたが、平成30年度では、531gと増加に転じました。

### (2) 不適正ごみの混入

従前から、可燃ごみの中に、本来リサイクルされるべき空缶やペットボトルなどの不適正なごみ、他自治体の住民が持ち込んだ越境ごみ、さらには事業者が自らの負担で処分すべき事業系ごみなどが混入している状況が見受けられます。

そのため、より正確に実態を把握する必要があり、平成30年2月から市内の可燃ごみを無作為に抽出し、中身を確認する展開検査を実施しました(平成31年4月11日までに494袋を検査)。その結果、重さの割合で、不適正ごみや資源化可能なごみが約30%含まれており、そのうち、約16%が古紙類、約1%がペットボトル、約6%がその他プラスチックでした。

### (3) 古紙類の分別について

現在、向日市では行政として実施する古紙類のリサイクル促進制度がなく、個々の市民の努力により無料回収を行う古紙回収業者に引き取ってもらうことをお願いするに留まっています。

しかし、古紙回収業者が巡回していない市域もあり、回収日も不定期で、市民にとっては古紙類のリサイクルを行いにくい状況があります。

### (4) 減少傾向にある分別回収ステーション

ごみの分別を徹底するために必要不可欠な資源ごみ分別回収ステーションは、現在公有地59か所、民有地88か所の合計147か所に設置されています。

しかし、近年では民有地の土地所有者による開発・売買等により、資源ごみ分別ステーションの設置数は減少傾向にあります。

## 5 ごみ減量を推進するための提言について

### (1) ごみ袋について

#### ① 国における処理費用の方針と他の自治体の状況

平成17年に改正された国の「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的

かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」において、市町村の役割として一般廃棄物処理の有料化を推進するべきであることが明確にされました。

これを受け、「向日市一般廃棄物処理基本計画」においても「市民の合意形成を踏まえた有料化の検討」が課題として掲げられています。

なお、他の自治体におけるごみ袋のあり方について、以下の状況が確認できました。

ア) 現在の向日市のように自由な袋を使用している。

イ) 袋の色だけを指定している。

ウ) 一般のごみ袋と同等価格で自治体が作成した袋を使用している。

エ) 袋を自治体が作成し、販売時にごみ処理費用の一部を袋代金に上乗せしている。

## ② ごみ袋見直しについて

地球温暖化対策の実施や循環型社会への転換が喫緊の課題であることを踏まえ、地方公共団体の役割と位置付けられている有料化の推進を図ることは、向日市にとって必要なことです。

国が示すように、市民へ排出量に応じた適正な負担を求め、住民の意識改革を進めるために、有料化を進めることは、ごみの減量を図る上で非常に有効な方法と考えられます。

しかし、経済的な負担を課す前に、まず市民の自主的な取り組みを促す方策を導入することが望ましいと考えます。そのために、透明もしくは半透明の指定袋を導入して、分別の徹底を促し、可燃ごみの中に不適正なごみや資源化可能なごみの混入を防ぐことで、ごみの減量化・資源化を推進する必要があります。

なお、導入にあたっては、以下の点に留意すべきと考えます。

ア) レジ袋の使用抑制について

小売店などから提供されるレジ袋については、ごみの発生抑制・資源消費抑制・温暖化防止の観点、特に世界的に大きな課題となっている使い捨てプラスチックの大幅使用削減の観点から、使用抑制が求められる。そのためレジ袋をごみを出す袋として使用することは禁止すること。ただし、プライバシー保護や利便性の観点から、生ごみ等を入れて指定袋の中に入れることはやむを得ないと考える。

イ) 指定袋の大きさについて

指定袋の規格は、排出されるごみの量が少ない世帯があることを踏まえて、必要に応じた大きさのごみ袋を選択できるよう、指定袋のサイズを数種類用意すること。

ウ) 価格について

日常生活において購入しやすいよう、コストを意識して規格を検討すること。

エ) その他

ボランティア清掃などで出たごみの回収に対し配慮をすること。

## (2) 古紙回収について

近隣市町の多くでは、リサイクル促進・ごみ減量施策として、自治会や町内会、PTAや子供会が主体となって実施する古紙類の集団回収に対して、回収量に応じた助成を行っています。

向日市では、現在はこうした助成制度がなく、多くの古紙類が可燃ごみとして処理されています。これら古紙類の再生利用を推進することで、ごみの減量や再資源化が大幅に進むものと期待されることから、他自治体の事例をよく研究しつつ、向日市に合った古紙回収に対する助成金の制度創設など、古紙回収を後押しする施策を検討し、導入する必要があります。

なお、古紙類の集団回収促進にあたっては、向日市内での古紙類の集団回収に対応できる事業者の情報や集団回収の事例情報など、集団回収の実施を支援する情報を市民へ提供することも必要です。

また、古紙リサイクルへの選択肢が増えるよう、市民にとって利便性の高い回収拠点を確保する等の環境整備に努めることも必要です。

## (3) 資源ごみ分別回収ステーションについて

分別回収ステーションが減少傾向にあるという現状に対し、以下の方策に努める必要があります。

- ア) 今後も、公共施設敷地内において、分別回収ステーションや資源物回収拠点となる用地の確保に努めること。
- イ) 新しい分別回収ステーションの設置について、市民の利便性と回収の合理性を踏まえ、空き店舗や空き地の所有者などに対し、必要に応じ協力を依頼すること。
- ウ) スーパーマーケット等商業施設に対し、資源物回収について協力を依頼すること。

## 6 おわりに

今回の提言に沿った施策を実施されるとともに、将来の人口減少社会を見据えながら持続可能な循環型社会が構築できるよう、市民主体のごみ減量がより一層促進されることを期待します。

また、今後もその施策の効果を検証し、ごみ減量のさらなる推進に努めるよう、当審議会としましても、課題の解決に向けて積極的に審議してまいりたいと考えます。